

囲碁ボール



縦・横・斜めのいずれかに3つ以上、5つのボールを何列並べられるかを競う。

難易度★★ 人数:1人～

◎ 用具

- ◆ 囲碁ボールマット・・・縦5m横2mの人工芝マットに、49個の目（穴）があります。
- ◆ ボール・・・直径7cmの硬質プラスチック製で、白・黒の各10個。
- ◆ スティック・・・木製

◎ 場所

原則的には室内競技ですが、屋外でも地面が平面であれば可能です。

コートは自動車1台分のスペースがあればできます。

5m×2mの人工芝マットに49個の目（穴）があります。

◎ 人数

シングルス（1対1）、ダブルス（2対2）、トリプルス（3対3）、他に変則的な人数でも可能です。

ゲームの進め方

1. 競技はヒットラインよりヒット（スティックでボールを打つこと）したボールをコート目の（穴）に停止させ、ボールを並べることを競う。
2. シングルス、ダブルス、トリプルスが基本的な対戦方法であるが、変則的な人数でも競技できる。
3. トス（ジャンケン）で先攻（黒ボール）を決める。
4. 黒・白のチームが交互にヒットする。
5. 両チーム全てのボールを打ち終わることを「1局」といい、1局が終わればアウトボールを取り除き得点を記録して次の局に入る。
6. 次の局は、前局の高得点チームが先攻となる。前局が同点の場合は、前局の先攻チームが引き続き先攻となる。
7. 1試合は5局の総合計で決める。ただし、1試合の時間は30分。試合途中で30分が経過した場合、その局は続けられるが次の局は行えない。

【ルール】

- (1) 目の底部に接触していないボールは、アウトボールとなり 1 局終了後、取り除く。
- (2) 1 局中に 1 人が打つボールの数は、対抗する人数によって異なる。
- (3) ヒットするとき、スティックはボールに 1 回のみ触れることができる。足はヒットラインを踏んでも越えてもよいが、ボールはヒットラインの外に置く。
- (4) 打ったボールが、すでに打って停止しているボールに触れても、反則にならない。
- (5) 1 試合は 30 分で行い、時間内に 5 局競う。30 分を経過した場合は次の局に入らない。
- (6) 得点

得点には「ライン得点」と「ポイント得点」がある。

① ライン得点

ボールが縦・横・斜めのいずれかの目に 3 つ以上並ぶとライン得点となる。並んだ数を「目（もく）」といい、できた組数を「連（れん）」という。6 つ以上並んだ場合は得点とならない。（ポイント得点にはなる。）

② ポイント得点

目（め）に停止しているボール数がポイント得点となる。チームのボール 10 個すべてが、どこかの目（め）に入った場合はポイント得点 10 の他に、特別にライン得点「5 目 1 連（5 もく 1 れん）」が与えられる。

(例) ライン得点・・・黒=なし、白=4 目 1 連と 3 目 1 連
ポイント得点・・・黒=5、白=6

【勝敗の判定】

☆ まずライン得点でみる

- 全局の中で、「5 目（もく）」で「連（れん）」の数が多いチームを勝ちとする。
- 同点の場合は、以下「4 目」「3 目」の「連」の多いチームを勝ちとする。

☆ ライン得点と同じ場合は、次にポイント得点でみる。

- ポイント得点の多いチームを勝ちとする。
- ポイント得点も同じ場合は、いずれかの局で高い得点のあるチームを勝ちとする。

※ すべてが同点の場合はジャンケンで決める。